





## 悲觀樂觀交々

憲法修正は可能?

▼米背景のメ・派の策動止まず

▼上下兩院未曾有の沸論豫想さる

憲法移民二分制限法の修正意見は昨年以降に於て來州選出の上院議員で憲法委員會委員長のアルカン

タ・マッジの賛成を要する二議員の提唱で

中央と聖州との政治的對立關係が解消せざる限り、その

背景とされるクーニャ・メロ派の策動依然止まず。從つて同

樂觀説を唱ふる方面の人々は

修正案の前途には今から悲觀

樂觀兩機の對立が相半して同

居り、現に先月來には今議員

は上院の全體の空氣を打診し

てその可能性を確めた如く傳

へられたが、以降に米國を

居る、現に先月來には今議員

は上院の全體の空氣を打診し

## 三浦書記官

歸朝ご決定

官補時代の二分案當時以來

リオの外交界で「葡語の達人

第一中央政府の絕對的支持を要し

第二上下兩院議員大多数の賛成を要する二議員の提唱で

關係が解消せざる限り、その

實現さる可性質のものでは

日本列島以前日本到着の様單

日本到着以後日本到着の様單

日本到着以前日本到着の様單

ここに立派な

生き甲斐あり

顔を並べた邦人地主

モジアナ線と言ふ

に線ナアジモ

生きて甲斐あり

顔を並べた邦人地主

モジアナ線と言ふ

ここに立派な

生き甲斐あり

顔を並べた邦人地主

モジアナ線と言ふ

ここに立派な

生き甲斐あり

顔を並べた邦人地主

モジアナ線と言ふ

ここに立派な

生き甲斐あり

顔を並べた邦人地主

モジアナ線と言ふ

